

ローマ史に見る「国家の興亡」とは何かを考える18冊

「帝国の興亡」上クハルバハの「ローマ帝国の興亡」

ドミニク・リーベン著

歴史上、世界のパワーバランスを左右してきた帝国。一見、確定した定義で見られそうだが、歴史を見ていくと帝国には多彩な姿があることが分かる。本書ではローマ帝国の「インペリウム」の解釈に始まり、大英帝国、オスマン、ハプスブルク、中国、ロシアなど世界の帝国との比較から、帝国の本質を力の源泉、興隆から崩壊していく様子を細部にわたり論じていく。

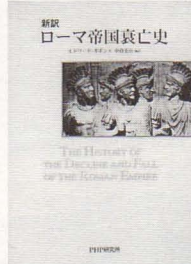


帝国の興亡(上)
ドミニク・リーベン著
田代茂樹監修 松井秀和訳
日本経済新聞社 各3780円

「新訳 ローマ帝国衰亡史」

エドワード・ギボン著

繁栄の絶頂から、急坂を下るがごとく衰退してゆく「ローマ帝国」人間の行動の背後にある「歴史の法則」の考察を重視して書いたといわれ、1776年に初巻を刊行。世界を支配した壮大な文明社会を築き、そして滅んでいったローマ人の軌跡を描くが、哀切ささらたえた名文は、著者の予想をはるかに超えた人気を呼び、後世の多くの人々を魅了した稀代の名著。



新訳 ローマ帝国衰亡史
エドワード・ギボン著
中倉玄喜編・訳
PHP研究所 2835円

「環境と文明」環境経済論への道

湯浅起男著

人類と環境との新しい関係構築のために、文明の端緒となった新石器革命からオリエント、中国文明など世界の東西の文明の興亡を、環境との関係から描く。21世紀を生きている人類へバレイダムの交換を促す。新評論 3675円



環境と文明
湯浅起男著
新評論 3675円

「古代末期の世界」ローマ帝国はなぜ滅びたのか?

ピーター・ブラウン著

西ローマ帝国やベルシヤ帝国の「衰退と滅亡」の一方で、歴史の新しい胎動が始まった古代末期(200~700年頃)。その一つがローマ帝国キリスト教化である。地中海世界に何が起きたのか。激動の時代に生きた人々の生活を追体験する。宮島直樹訳 刀水書房 2940円

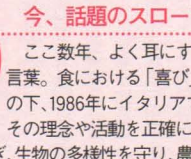


古代末期の世界
ピーター・ブラウン著
宮島直樹訳 刀水書房 2940円

「海のかなたのローマ帝国」古代ローマとブリテン島

南川高志著

ローマ時代の円形闘技場や城壁など、遺跡や記念物が各地に存在するイギリス。地中海帝国ローマがもう一つの海を越えた理由は? カエサルが遠征し、クラウディウス帝により属州化、タキトゥスが描写したローマ帝国最北端、ブリテン島の実像に迫る。岩波書店 2730円



海のかなたのローマ帝国
南川高志著
岩波書店 2730円

「国際紛争」原書第4版「理論と歴史」

ジョセフ・S・ナイ・ジュニア著

アラブイスラエル紛争、アメリカ9・11テロ事件、各地域民族紛争やテロリズム。なぜ紛争がおこるのか、語り起5世紀のペロポネソスの戦いから語り起こし、理論と歴史を相互検証。全米で用いられている国際政治学入門書全訳(田中明彦・村田晃朗訳 有斐閣 2730円)



国際紛争(原書第4版)理論と歴史
ジョセフ・S・ナイ・ジュニア著
有斐閣 2730円

「ソシヤルパワー: 社会的な力の世界歴史」

マイケル・マン著

人類はいかにして力を獲得していったのか。イデオロギー的な力。自然物を取り出し、加工、分配し、消費していく経済の力。加えて国民国家の防衛の必要性と、攻撃の有用性から生まれた軍事力。さらに政治力と、人間社会における力と権力の諸関係をこれら4つの力から解明していく。人類誕生から現代まで5千年の歴史を吟味した、歴史社会学の大著。全3巻の①。

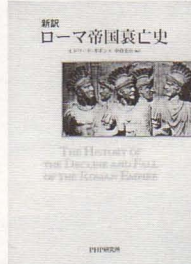


ソシヤルパワー: 社会的な力の世界歴史(1)
マイケル・マン著
森本醇・君塚直隆訳
NTT出版 6090円

「近代ヨーロッパの探究10」民族

大津留厚・野村真理・森明子他著

冷戦終結後、世界の紛争の火種となったのは「民族」であった。民族浄化の名のもと、悲惨な状況を醸した旧ユーゴスラビア連邦と中央ヨーロッパ。ポーランドとユダヤ人、ウクライナ人と三つ巴の確執や教育、音楽、言語など多彩な視点から見えてくる民族の苦闘や闘争の歴史……。民族の複雑性や奥深さが検証される論文集。



近代ヨーロッパの探究10「民族」
大津留厚・野村真理・森明子他著
ミネルヴァ書房 4725円

「危機をめぐる歴史学」西洋史の事例研究

山代宏道編

歴史上、他国から文化的接触や民族的支配などを受けた場合、そこには危機意識が生じる。それを当時の歴史家がどのように記録し、またその国民がその危機をいかに克服していったか、歴史学者が検証。刀水書房 5985円



危機をめぐる歴史学
山代宏道編
刀水書房 5985円

「同時代史」

タキトゥス著

ネロ自殺後の69年。次期皇帝と目されたオトが2人を殺害。そのオトも自軍敗戦に自害。さらに勝利したウィテリウスも不面目な最期を。公的生活の中での「あまりに長い一年」の記録。(國原吉之助訳 筑摩書房 4935円)

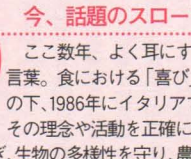


同時代史
タキトゥス著
國原吉之助訳 筑摩書房 4935円

「アレクサンドロス大王」その戦略と戦術

パルサー・ボリス著

世界史上最大の軍事戦略家であり、最初の帝国支配者と言われるアレクサンドロス大王。その生涯とともに、古代から現代に至るまで数多くの軍事・政治・ビジネスなどの指導者たちに影響を与えた。戦略の基本問題から実践手段までを示す。戦略の基本問題から実践手段までを示す。(鈴木主税他訳 集英社 2835円)



アレクサンドロス大王
パルサー・ボリス著
鈴木主税他訳 集英社 2835円

特別プレゼント

今、話題のスローフードのすべてがわかる
ここ数年、よく耳にするようになったスローフードという言葉。食における「喜び」と「知識」を結びつけるという哲学の下、1986年にイタリアで協会が創立された運動である。しかし、その理念や活動を正確に把握している人はまだ少数だ。動植物の絶滅を防ぎ、生物の多様性を守り、農村文化が遺棄子操作技術の犠牲にならず、食に関する伝統技術と知識が失われないための活動なのだ。日本のスローフード先駆者と、北イタリアの町に本部を構えるNPO法人・スローフード協会が唯一の日本人スタッフによる徹底ガイド。この「スローフード・マニフェスト」(金丸弘美・石田雅芳 共著)を5名の方に。応募方法は左に。



スローフード・マニフェスト
金丸弘美・石田雅芳 共著
木楽舎 1785円

「書想倶楽部」全冊プレゼント

P42~45掲載の本の中から1冊(上下巻2冊、シリーズは①~③)をプレゼントします。(1万円相当まで)応募先/ハガキにて、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、希望の書名、最近読んだ本の簡単な感想(100字以内)を書いて〒101-8001 神田区区内小学館サビオ編集部「書想倶楽部⑥係」までお送り下さい。締め切りは4/13(火) ※発表は発送をもって代えさせていただきます。なお発送は2~3週間かかります。